



Subaru

ニュース№498

男声合唱団

‘15. 3. 7

人々の参加者を交え4曲をレッスン

3月6日

□2月22日から間があいて、2週間ぶりの3月6日（金）の定例レッスンは、奥村さんの体操に始まり、本並先生のヴォイストレーニングと指揮、静さんのピアノで、「人間のうた」、「淀川三十石舟唄」、「初心の歌」と「山賊のギャロップ」をレッスンしました。参加は、人々の参加の栗栖さん、はがさんを加えて、全28名でした。

□人々といえば、昴の初代のピアニストの千秋永津子さん（千秋団長の義理の姪っ子）が遊びに見えました。今は関東在住ですが、親の介護もあってよく帰ってきておられるそうです。今度のコンサート曲の「春を待つ」、「I've Got SixPence！」はもともとのアカペラ曲に千秋永津子（旧姓 土肥）さんに素晴らしいピアノを作曲してもらったものです。



レッスン一ロメモ

□「人間のうた」は吉田桂子編曲の昂バージョンの新譜で行いました。途中、アカペラをMeno Mosso（いままでより遅く）で、一層情感を込めて歌います。また、バスパートで後半、半音上げたところがありますので要注意です。

□「淀川三十石舟唄」は、一番はさびのきいた乾さんのソロは今まで通りですが、2番から楽譜通りで短縮なしのバージョンです。今までほとんどのステージは短縮バージョンで歌ってきましたので、古い団員でも初めての人が多いと思います。難しい音程が多いので、パートレッスンをやり直す必要があります。本並先生からの「難しい音程があるが、男声合唱らしいアカペラのうたで、歌い甲斐、聞き甲斐のある歌でしょう？」との投げかけに、みなさんうなずいていました。

□「初心のうた」は、難しい「追いかけっこ=カノン」のところが、皆さん歌い込んできてさまになってきました。カノンは言葉が重なって聞き取りにくくなるので、言葉の出だしを特にはっきり発音するようにと指導がありました。

□「山賊のギャロップ」はピストルの音を伊藤さんに入れてもらって歌いました。ギャロップ（乗馬で“全速力”）らしいスピードで演奏できるまでもう一步。この曲は、YouTubeに、ウイーンフィルのニューイヤーズコンサートの愉快な演奏（オーケストラで合唱ではありません）が載っていますので聴いてみてください。速さなど参考になるのではないでしょうか。

おさらい

□大阪市会に立候補する立川さんを励ます会に沢山の賛同を得ました。3月8日（日）に事務所びらきがあり、励ます会の皆さん他多数の参加をお願いします。

□♪ジェーフシカ210コンサート♪が5月24日（日）15時開演、島之内教会で開かれます。ねこ=乾清子（第一合唱団、乾さんの妻）、かこ、あつこの三重奏をメインに、オープニングにバスの乾さんの「淀川三十石舟唄」と「天満の市は」もあります。ヴァイオリン・フルート・ピアノの“ももちゃんファミリー”的特別出演や〈みんなで歌おう〉と多彩で楽しめそうです。みなさんどうぞ。問い合わせは乾さんまで。

□バリトンの仲谷さんが兼団している実力派「河南混声合唱団」が9月27日（日）に「第9回コンサート」をLICはびきので開きますが、「特別団員」を募っています。男声が少ないのでぜひ応援をとのことです。曲は「アメイジンググレイス」（詩 山ノ木竹志）と「あすという日が」です。問い合わせは仲谷さんまで。